

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育原理		こども保育学科/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	山北泰子
授業の概要				
保育の意義及び目的を理解し、保育者として子どもや保護者に関わるために必要となる基本的な視点や取り組みについて深める。法令及び制度としての保育所の役割や目的の理解とともに、保育所保育指針において保育の基本を理解し、保育の目的や意義を考察する。また、保育の思想や歴史を概観することから、現代の保育との関連性や現代社会の抱えている子どもの課題を考察する。				
授業終了時の到達目標				
保育所保育指針における保育の本や保育の歴史の変遷について学び、呆について基本的な内容を理解する。また、様々な保育を取り巻く環境をふまえ、保育の現状と課題について本質を探究でき、自分なりの見解を持つことが出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭として19年勤務、副園長2年、副園長、園長(所長)兼任3年、専門学校、短期大学非常勤講師18年 乳幼児から学生指導までの現場経験を活かし保育者のあるべき姿を伝える。		
時間外に必要な学修				
事前にテキストに目を通し、関心を持った事柄については授業で協議の内容を深めるきっかけとする。				
回	テーマ	内容		
1	・保育とは ・乳幼児の特徴と保育の意義とは	・保護と教育 ・人間の子どもの特質と保育の必要性		
2	・乳幼児期の発達的特質 ・幼児の思考の特徴とは	・身体的、感覚的発達の特質 ・自我の発達と幼児の思考(言葉、情動、社会的発達)		
3	・保育思想と児童観の変遷	・古代、中世、近世から近代へ 近代幼児教育思想の形成(児童観の転換)について		
4	・近代保育施設と制度の創設と発展 ・各国の保育を学ぶ	・創設、発展に寄与した代表的人物を知る・各国の保育の発展と児童観		
5	・我が国における幼稚園、保育所の成立と変遷	・幼稚園、保育所の保育目的と規定および保育所の種類・保育内容の変遷と内容		
6	・保育の内容、方法、計画、評価	・保育の方法形態の分類について・保育方法の基本原則について		
7	・保育の計画と記録のとり方	・教育課程と保育課程 ・カリキュラムの作成について		
8	・保育の計画と記録のとり方	・遊びの意義と子どもの実態把握について ・記録のとり方について		
9	・保育の評価とは	・指導計画の評価とは ・指導結果の評価について		
10	・保育の評価とは	・保護者との連携のとり方		
11	・様々な保育と課題について	・幼稚園と保育所の今後と主な動向 ・幼保一元化と認定こども園		
12	・保育の多様化と課題	・保育所民営化と保育への企業参入 ・地域子ども、子育て支援事業と内容について		
13	・保育の多様化と課題	・保育の多様化と課題についての協議		
14	・科目終末試験設題からの授業復習	・設題から課題を見つけ協議し、保育の本質を探究する。 ・協議する中で、保育に対する自分なりの見識を持つ。		

回	テ ー マ	内 容		
15	・ 公務員試験過去問からの授業復習	・ 設問を解きながら振り返る		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育原理(近畿大学九州短期大学テキスト) ・ 現場の視点で学ぶ保育原理(教育出版) ・ 保育所保育指針・幼稚園教育要領 ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(文部科学省・厚生労働省・内閣府) ・ 自作プリント 	総合評価	100.0%	【採点内訳】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 20% ・ レポート 20% ・ 試験60%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
子ども家庭福祉		こども保育学科/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	豊田 章裕
授業の概要				
子どもを取り巻く環境の変化や、子どもの犯罪・虐待、また家族機能の変化などによって、子どもの健やかな成長が妨げられている現状について自ら問題意識を持ち、児童家庭福祉における今後の課題としてどのように取り組んでいくべきか総括的に考察できる力を養う。また、「子どもの人権」を守るための児童家庭福祉の役割と課題について理解を深める。				
授業終了時の到達目標				
児童福祉の中における「保育」、「養護」の役割を知る。 児童福祉法における保育士の役割をしる。 児童福祉施設の役割を知る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		兵庫県の中の公務員として児童福祉、子育て支援、こども家庭支援の相談等いろいろな業務を行っている。		
時間外に必要な学修				
児童に関する今後の課題について調べる				
回	テーマ	内 容		
1	現代社会における児童家庭福祉の理念と歴史的変遷	「児童」の捕らえ方 児童家庭福祉の理念		
2	〃	児童家庭福祉の歴史的変遷		
3	現代社会と児童家庭福祉	小子化の進展・家庭のあり方		
4	〃	子どもの貧困問題の深刻化・いじめをめぐる問題		
5	児童家庭福祉の制度と実施体系	児童福祉六法		
6	〃	児童家庭福祉の行政と実施機関		
7	〃	児童福祉施設とは		
8	児童家庭福祉と保育	児童家庭福祉の目的と児童の人権 子どもの発見		
9	〃	保育とは・保育サービスの現状		
10	〃	多様な保育ニーズへの対応		
11	児童家庭福祉の現状と課題	少子化と子育て支援サービス・母子保健サービス		
12	〃	児童虐待防止・DV		
13	〃	障害のある子どもへの対応		
14	〃	少年非行等への対応		
15	児童家庭福祉の動向と展望	次世代育成支援と児童家庭福祉の推進		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ	ー	マ	内	容
児童家庭福祉				総合評価	100.0% 【採点内訳】 60% 試験 20% 提出物 20% 授業態度

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会福祉		こども保育学科/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	豊田 章裕
授業の概要				
現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について理解する。これらのことを基礎に、社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について学ぶ。また、社会福祉の制度や実施体系について理解し、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。更に、共生社会の実現と障害者施策について学びを深める。これらの学びを踏まえて社会福祉の動向と課題について考察をする。				
授業終了時の到達目標				
保育者に求められる社会福祉に関する基本的な知識を習得する。 さらに、生活者としての視点で、現代社会における諸問題とそれに対応する社会福祉の意義と役割を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		病院にて援助業務を5年 現場経験を活かして援助技術の方法等を事例を通して授業を行う。		
時間外に必要な学修				
「社会福祉」の領域について自分の考えをまとめる。				
回	テーマ	内容		
1	社会福祉とは	社会福祉の理念や概念について		
2	社会福祉の歴史	第二次世界大戦までと第二次世界大戦後の社会福祉 社会福祉基礎構造改革について		
3	社会保障制度について	社会保障制度の体系や種類について学ぶ		
4	子ども福祉	児童福祉法と関連法 児童福祉施設と専門職		
5~ 6	障害者福祉とはなにか学ぶ	障がいとはなにか、障がいの種類やかかわり方についてを学ぶ。 障害者福祉に関する法律と施設について学ぶ。		
7~ 8	コミュニケーション	伝え方の工夫について学ぶ		
9~ 11	相談援助の対象と過程	保育における相談援助 相談援助の過程		
12~ 14	相談援助の方法と技術	相談援助の方法と技術について考える		
15~ 16	障がいに応じた対応の仕方	車いす操作について 衣類着脱や食事介助など		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
社会福祉概論		総合評価	100.0%	【採点内訳】 試験 60% 提出物 20% 授業態度 20%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
子ども家庭支援論		こども保育学科/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	豊田 章裕
授業の概要				
子育て家庭に対する支援の意義・目的・役割を学ぶ。保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解した上で、子育て家庭に対する支援の体制を学ぶ。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
子育て家庭に対する支援の意義・目的・役割を理解する。保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本、子育て家庭に対する支援の体制を理解する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		兵庫県 ¹ の市の公務員として児童福祉、子育て支援、こども家庭支援の相談等いろいろな業務を行っている。		
時間外に必要な学修				
授業内容の復習、子ども子育てに関する新聞・ニュース記事を調べる。				
回	テーマ	内容		
1	家庭支援が求められる背景と意義について	家庭支援が求められる背景として家族の機能や地域社会の変化があげられ、家族と地域を育て結びつけていくことに意義がある。		
2	家庭と家族について	家族の形態や変動について。多様化する家族について。		
3	家族の機能について	家族の機能とは何か。近代化以前、近代化後、現代における家族の機能の変遷や、課題について		
4	子育て家庭を取り巻く地域社会の変遷について	近代化以前、近代化以後。現代における地域社会の変遷。		
5	家庭支援における保育者の役割について	家庭支援における保育者の様々な役割、保育所保育指針、幼稚園教育要領。保育者の姿勢について		
6	保育教育現場に求められる家庭支援について	子どもの保育教育と密接した保護者支援について		
7	在宅子育て家庭への支援について	在宅子育て家庭への支援の必要性、援助技術、姿勢について		
8	家庭支援に関わる法・制度について	子どもの権利条約をはじめ、子供や子育てに関する様々な法律や制度について		
9	子どもと家庭を支える機関や人について(1)	子どもと家庭を支える専門機関について		
10	子どもと家庭を支える機関や人について(2)	子どもと家庭を支える地域活動について		
11	子どもと家庭を支援する事業やサービスについて(1)	子どもと家庭を支援する事業の類型について		
12	子どもと家庭を支援する事業やサービスについて(2)	子どもと家庭を支援するそれぞれの事業について		
13	障害のある子どもと保護者への支援について	障害への気づき、神殿も困り感と家族の理解。多職種との連携について		
14	虐待家庭への支援について(1)	虐待事例の近年の傾向、発見・通告、保育者の役割について		
15	虐待家庭への支援について(2)	虐待事例での保護者への支援について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内容	
	「よくわかる家庭支援論」第2版 ミネルヴァ書房	総合評価	100.0% 【採点内訳】 筆記試験 90% 授業態度 10%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会的養護 I		こども保育学科/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	豊田 章裕
授業の概要				
社会的養護の意義・歴史的変遷の把握を基盤に、児童観を含め児童の権利擁護、社会的養護の制度、実施体系、自立支援等の現状及び課題の理解を通して、保育士としての多様なニーズへの対応、児童の生活・成長・発達の支援の在り方について考察する。				
授業終了時の到達目標				
社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 社会的養護の現状と課題について理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		病院にて援助業務を5年 現場経験を活かして援助技術の方法等を事例を通して授業を行う。		
時間外に必要な学修				
こどもの権利と児童憲章について調べておく。				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷	社会的養護の理念と概念 社会的養護の歴史的変遷		
3~ 5	社会的養護の基本	子どもの人権擁護と社会的養護 社会的養護の基本原則 保育士等の倫理と責務		
6~ 8	社会的養護の制度と実施体系	社会的養護の制度と法体系 社会的養護の仕組みと実施体系		
9~ 12	社会的養護の対象・形態・専門職	社会的養護の対象、専門職 家庭養護と施設養護		
13~ 15	社会的養護の現状と課題	社会的養護に関する社会的状況 施設等の運営管理 被措置児童等の虐待防止		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
社会的養護 I		総合評価	100.0%	【採点内訳】 試験 60% 提出物 20% 授業態度 20%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育者論		こども保育学科/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	山北 泰子
授業の概要				
<p>保育者の役割・職務内容と倫理について理解する。児童福祉法における保育士の定義を理解した上で、保育士の専門性について考察する。 また、保育者の連携・協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。 更に、組織とリーダーシップについて学びを深める。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>保育者の役割。職務内容と倫理について理解する。児童福祉法における保育士の定義を理解した上で、保育士の専門性について考察する。 また、保育者の連携協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。 更に、組織とリーダーシップについて学びを深める。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭として19年勤務、副園長2年、副園長、園長(所長)兼任3年、専門学校、短期大学非常勤講師17年 乳幼児から学生指導までの現場経験を活かし保育者のあるべき姿を伝える。		
時間外に必要な学修				
事前にテキストに目を通し、関心を持った事柄を積極的に是案し、授業の中で協議する。また、レポート設題集及び科目、ミ末試験設題集にも目を通しながらテキストの関係個所の熟読。				
回	テーマ	内容		
1	教育とは何か・・・教育について考える 教師とは何か・・・教師について考える	育てる事と教える事(成長助成と伝達と形) 子どもへの信頼と子どもの心		
2	教職とは何か 教師の資質能力とは	教職という仕事とその使命の理解 教師に求められる資質能力と指導力とは		
3	日本における教師の歴史 学制の制定から戦後の教師	学制の制定師範学校の創設-教育勅語とは・大正期の教師の地位 戦時下の教師・・・軍国主義と教師・戦後の教師		
4	仲間集団の現状と子どもの社会的発達 地域社会の教育力	子ども達を取り巻く社会環境と現代社会の子ども 地域社会の教育力と低下・地域住民との関わりと教育力の再構成とは		
5	幼稚園、保育所、認定こども園の生活と遊び 子どもにとっての遊びとは	園での一日の流れと保育者の仕事とは 遊びと保育の中での遊びとは(保育の形態、指導計画等)		
6	小学校との連携 小学校での遊びと授業のとらえ方	小学校の役割と教員の資質 授業のとらえ方と専科教員について		
7	学校を支える人と仕事 ひとつのチームとしての学校とは	学校を一つのチームとしてのとらえ方と必要性 専門スタッフと地域との連携体制の整備		
8	カウンセリングマインドとは	保育者、教師の資質としてのカウンセリングマインド ロジャースの3原則とは		
9	カウンセリングマインドの対象と目的 保育、教育の場での対応の実際、事例等	気にかかる子どもへの対応(事例) 特別な支援を要する子どもへの対応※ DVD視聴		
10	教師の新たな役割を学ぶ 学校における社会体験とキャリア教育の意義	情報化と教師の今後の役割とは 体験活動の重要性とキャリア教育の意義と課題		
11	教師をめぐる法律について	教育に関する法律とは 教師の教育活動について		

回	テーマ	内 容		
12	教師をめぐる法律について	教育職員免許法と教員養成の改革 教師の身分と服務義務-教師に関わるその他の法律		
13	教育改革とこれからの教師像 臨教審の発足と教育制度改革とは	臨教審とは(麟教審の任命背景と概要) 臨教審以後の教育制度改革		
14	教員への道	教員採用試験と就職 公立幼稚園と私立幼稚園		
15	教育とは何か・・・教育について考える 教師とは何か・・・教師について考える	まとめとして関心のある事柄について全体で協議 公務員試験過去問実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教職概論 教職入門 萌文書林 古橋和夫編 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 自作プリント		総合評価	100.0%	【採点内訳】 授業態度：20% 提出物：20% テスト：60%